

【富士市の投票率アップのためのデジタル戦略】

若者の投票率アップ大作戦!!

～高校生と協働でPR～



このまちに暮らすと、目線が上がる。
だって、そこには日本一の頂があるから。
このまちに暮らすと、心が広がる。
だって、ここにはどこまでも続く海があるから。
気づけば、いつも恵みの中。
だから、どんな一歩だって踏み出せる。
毎日がはじまり。じぶんの頂へと歩いていこう。



富士市選挙管理委員会事務局
総務部デジタル推進課デジタル戦略室



富士市の現状

■富士市の18歳～19歳の投票率

平成27年6月、公職選挙法等の一部を改正する法律が成立、公布された。

これに伴い、平成28年6月19日の後に初めて行われる国政選挙の公示日以後にその期日を公示又は告示される選挙から、選挙権年齢が「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられた。

その後に富士市で行われた選挙の投票率をしてみると、全体の投票率に対し、若年層の投票率が低い。



全体投票率に対し、18歳、19歳ともかなり低い。

| 執行年月日 | 選挙名 | 富士市 | | | 静岡県 | | | 全国 | | |
|---------------|----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 投票率 | | 全体投票率 | 投票率 | | 全体投票率 | 投票率 | | 全体投票率 |
| | | 18歳 | 19歳 | | 18歳 | 19歳 | | 18歳 | 19歳 | |
| 平成28年7月10日執行 | 参議院議員通常選挙 | 44.78% | 31.22% | 51.25% | 48.70% | 37.15% | 55.76% | 51.28% | 42.30% | 54.70% |
| 平成29年6月25日執行 | 静岡県知事選挙 | 33.25% | 17.46% | 42.70% | 34.59% | 20.93% | 46.44% | - | - | - |
| 平成29年10月22日執行 | 衆議院議員総選挙 | 45.30% | 24.15% | 52.75% | 47.63% | 27.76% | 56.32% | 47.87% | 33.25% | 53.68% |
| 平成29年12月24日執行 | 富士市長選挙 | 30.48% | 13.85% | 37.59% | - | - | - | - | - | - |
| 平成31年4月7日執行 | 静岡県議会議員選挙 | 24.85% | 18.47% | 41.07% | 31.39% | 23.98% | 46.85% | - | - | - |
| 平成31年4月21日執行 | 富士市議会議員選挙 | 20.21% | 16.13% | 42.56% | - | - | - | - | - | - |
| 令和元年7月21日執行 | 参議院議員通常選挙 | 28.89% | 19.68% | 44.74% | 34.61% | 26.16% | 50.46% | 35.62% | 28.83% | 48.80% |
| 令和2年4月26日執行 | 衆議院小選挙区選出議員補欠選挙(第4区) | 33.10% | 17.29% | 44.19% | 23.53% | 13.66% | 34.12% | - | - | - |
| 令和3年6月20日執行 | 静岡県知事選挙 | 36.60% | 24.48% | 48.10% | 34.91% | | 52.93% | - | - | - |
| 令和3年10月24日執行 | 参議院静岡県選出議員補欠選挙 | 31.45% | 17.57% | 39.49% | 30.79% | | 45.57% | - | - | - |
| 令和3年10月31日執行 | 衆議院議員総選挙 | 42.40% | 26.44% | 52.03% | 37.36% | | 54.81% | 43.21% | | 55.93% |



富士市の現状

富士市で実施している選挙啓発

● 明るい選挙啓発ポスター審査会

市内小学校、中学校、高校に対し、選挙啓発を目的としたポスターを募集し表彰。

● 選挙啓発クリアファイルの作成

主に若年層に向けて、選挙に関する事項を周知することを目的にクリアファイルを作製。

● 新有権者へ選挙人名簿登録通知（ハガキ）の送付

選挙人名簿へ登録された新有権者へ、選挙権を大切に投票に行くことを促す通知を郵送。

● 出前授業による啓発

市内中学校、高校等で出前授業を実施。

● 広報車による市内巡回

選挙期間中に市内を2台の広報車で啓発。

● 庁舎・公共施設ポスター、のぼり旗設置

選挙期間中に啓発ポスター、のぼり旗を設置。

● 商店街、商業施設での啓発

商店街や商業施設内の放送を利用。

● 広報ふじ、ラジオ啓発

広報紙やコミュニティエフエム放送で広報。



▲ 市内高校での出前授業による模擬投票



▲ 明るい選挙啓発ポスター展示会



課題

啓発活動はたくさんしている



たぶん18歳・19歳の人に届いていない

⇒この世代の目にする機会が多いのは「デジタル」？



若者の情報収集手段

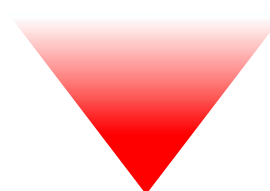
※若者向けのサービスの企画を提供する株式会社ネオレアによる調査（2020年9月）



⇒Instagram, Twitter, YouTubeといったSNSが上位



では、SNSで「選挙に行こう」と発信すれば、**この世代は行くのか？**



おそらく行かない。



関係ないし。
興味ないし。
候補者知らないし。

⇒選挙が「他人事」になっている



若者の選挙の自分ゴト化



「選挙に行ってみよう！」
「行くしかないでしょ」

と思ってもらうには



選挙啓発に
高校生に参加してもらい

⇒選挙を「自分ゴト化」する



高校生による選挙啓発

内容

富士市内の高校生
(高校2年生、3年生)に
「選挙に行こう！」
「私は投票する」
「私の一票、意外と重要？」
「私の未来は私が決める！」

などの一言を動画撮影し、SNSで広告配信する。



出演者

市内各高校**10名** 合計**60名**程度

(県立富士高校、県立吉原高校、県立富士東高校、
県立吉原工業高校、富士市立高校、私立富士見高校)





配信メディア

広告媒体

富士市内に住む18歳～20歳の人に対し、**Instagram**で、選挙公示日から投票日前日までの間、撮影した動画を各高校ごと編集し、広告を配信する。



Instagram

スケジュール

| | |
|--------|------------------|
| 5月中旬まで | 市内6校での撮影 |
| 6月22日 | 参議院議員通常選挙公示日（予定） |
| | デジタル広告配信期間 |
| 7月10日 | 参議院議員通常選挙（予定） |

※令和5年4月に実施される統一地方選挙で配信する。

